

要請の届出書

平成21年8月11日

高等教育局長 殿

国立大学法人佐賀大学長
長谷川 照



佐賀大学大学院農学研究科生物資源科学専攻設置報告書

このたび、佐賀大学大学院農学研究科生物資源科学専攻を設置すること
について、別紙書類にて報告します。

佐賀大学一

設置計画の概要

事項		記入欄										
設置手続きの種類		事前伺い										
計画の区分		研究科の専攻の設置										
フリガナ設置者		コリウガクケンカクジンカクダクウ 国立大学法人 佐賀大学										
フリガナ大学の名称		サガダク 佐賀大学(Saga University)										
新設学部等において養成する人材像		<p>①生物資源の開発と機能解析、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学、地域社会の持続可能な開発などの分野で、企業や社会において指導的立場で能力を発揮できる高度な専門職業人の養成。</p> <p>②高い倫理意識と国際性豊かな教養を備え、情報収集・分析能力及び優れたコミュニケーション能力を有し、先端的・応用的・実用的な知識及び技術を実践的に活用できる能力を習得させる。</p> <p>③高度な農業技術と経営管理能力を活かした地域農業組織及び生物資源の開発と機能解析、環境保全と持続的農業生産、生命化学と食糧科学に関連する企業・団体・行政・研究所等。</p>										
既設学部等において養成する人材像		<p>①農業生産性の向上と豊かな地域社会環境の整備・保全に関する幅広い知識と実践力を有する技術者及びバイオサイエンス分野の高度な専門知識を有する学術分野や産業分野における研究者・指導者の養成。</p> <p>②国際性豊かな教養と情報収集能力、得られた結果をまとめる能力及びプレゼンテーション能力を有し、計画の立案と実行及び得られた成果を社会へ還元する能力の習得。</p> <p>③地域農業組織等の農業技術者、生物資源科学・食品科学・バイオサイエンス等に関連する企業・団体・研究所及び大学等での研究者。</p>										
新設学部等において取得可能な資格		<p>【生物資源科学専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭専修免許（理科）、高等学校教諭専修免許（理科、農業） ①国家資格、②資格取得可能 ③1種免許状を既に取得している者で、教育職員免許法上の教科に関する科目として認定されている授業科目を修得し、かつ、修士課程を修了することが必要 										
既設学部等において取得可能な資格		<p>【生物生産学専攻・応用生物科学専攻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校教諭専修免許（理科）、高等学校教諭専修免許（理科、農業） ①国家資格、②資格取得可能 ③1種免許状を既に取得している者で、教育職員免許法上の教科に関する科目として認定されている授業科目を修得し、かつ、修士課程を修了することが必要 										
新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
	農学研究科	生物資源科学専攻					学位又は称号	学位又は専攻の分野		異動元	助教以上	うち教授
			修士（農学）	農学関係	農学研究科生物生産学専攻	22	8					
									農学研究科応用生物科学専攻	27	14	
								新規採用等	8	2		
								計	57	24		
既設学部等の概要（現在の状況）	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
	農学研究科	生物生産学専攻（廃止）					学位又は称号	学位又は専攻の分野		異動先	助教以上	うち教授
			修士（農学）	農学関係	農学研究科生物資源科学専攻	22	8					
									退職	2	2	
								計	24	10		
								農学研究科生物資源科学専攻	27	14		
								計	27	14		
【備考欄】												
現行の農学研究科は、平成4年4月に設置されたが、平成15年10月に佐賀大学と佐賀医科大学が統合されたことにより、開設時期は、平成16年4月と記載している。												

教育課程等の概要(事前伺い)

(農学研究科生物資源科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目共	農学総合講義	1前	2			○			3	4					オムニバス
	小計(1科目)	-	2						3	4					
基礎教育科目	応用生物科学特論	1前		1		○			4						オムニバス
	生物環境保全学特論	1前		1		○			4	3	1	1			オムニバス
	作物生産学特論	1後		1		○			1						} 2単位選択必修
	生命機能科学特論	1前		1		○			3	4					
	農業経済学特論	1前		1		○			1						
	小計(5科目)	-		5					13	7	1	1			
主コース(応用生物科学コース) 専門科目	【応用生物科学コース】														
	熱帯農業資源学特論	1前		1		○			1						
	サトウキビ農業特論	1前		1		○			1						
	熱帯作物改良学特論	1後		1		○				1					
	熱帯作物生理学特論	1後		1		○				1					
	動物資源開発学特論	1後		1		○			1						
	動物ゲノム情報学特論	1後		1		○			1						
	動物発生学特論	1前		1		○				1					
	動物繁殖生理学特論	1前		1		○				1					
	植物工学特論	1前		1		○			1						
	植物遺伝子工学特論	1前		1		○			1						
	植物機能学特論	1後		1		○			1						
	植物代謝先端科学特論	1後		1		○			1						
	蔬菜花卉園芸学特論	1後		1		○				1					
	園芸植物資源開発学特論	1後		1		○				1					
	果樹育種学特論	1前		1		○			1						
	果樹遺伝学特論	1前		1		○			1						
	植物ゲノム育種学特論	1前		1		○				1					
	植物分子遺伝学特論	1前		1		○				1					
	植物病原学特論	1前		1		○				1					
	植物感染病学特論	1前		1		○				1					
	植物病学特論	1後		1		○			1						
	先端植物ウイルス病学特論	1後		1		○			1						
	線虫学特論	1前		1		○						1			
	先端線虫科学特論	1前		1		○						1			
	昆虫分子生物学特論	1後		1		○			1						
	先端昆虫分子生物学特論	1後		1		○			1						
	システム生態学特論	1後		1		○			1						
	進化生態学特論	1後		1		○			1						
	動物行動生態学特論	1後		1		○			1						
	動物行動学特論	1後		1		○			1						
	動物遺伝育種学特論	1前		2		○			1						メディア集中
	インターンシップ	1前		1					1						
	生物資源開発学演習Ⅰ	1通		2				○	5	4					
	生物資源開発学演習Ⅱ	2通		2				○	5	4					
	生物資源制御学演習Ⅰ	1通		2				○	4	1		1			
生物資源制御学演習Ⅱ	2通		2				○	4	1		1				
小計(36科目)	-		41					9	5		1				
特別研究	1~2通		10				○	9	5		1				
(研究指導)	1~2通		-												
小計(1科目)	-		10					9	5		1				
合計(37科目)	-		10	41				9	5		1				

		【生物環境保全学コース】														
主 コ ー ス （ 生 物 環 境 保 全 学 コ ー ス）	専 門 科 目	利水情報工学特論	1前		1		○				1					
		水資源計画学特論	1前		1		○				1					
		農地環境工学特論	1前		1		○				1					
		農地計画学特論	1前		1		○				1					
		土壌物理学特論	1後		1		○				1					
		先端地水学特論	1後		1		○				1					
		浅海環境工学特論	1後		1		○			1						
		リモートセンシング工学特論	1後		1		○			1						
		生産地盤工学特論	1後		1		○								兼1	
		土質工学特論	1後		1		○								兼1	
		環境資源学特論	1後		1		○			1						
		物理探査学特論	1後		1		○			1						
		土地生産機能学特論	1後		1		○			1						
		応用水利学特論	1後		1		○			1						
植物環境調節学特論	1前		1		○			1								
先端植物栄養調節学特論	1前		1		○			1								
環境分析化学特論	1前		1		○					1						
インターンシップ	1前		1				○		1					集中		
生物環境保全学特別演習	1～2通	2					○		4	3	1	1				
小計（19科目）	—	2	18				—		4	3	1	1		兼2		
特別研究 （研究指導）	1～2通 1～2通	10 —					○		4	3	1	1				
小計（1科目）	—	10					—		4	3	1	1				
合計（20科目）	—	12	18				—		4	3	1	1		兼2		
		【資源循環生産学コース】														
主 コ ー ス （ 資 源 循 環 生 産 学 コ ー ス）	専 門 科 目	植物遺伝資源学特論	1後		1		○				1					
		応用遺伝資源学特論	1後		1		○				1					
		施設農業生産学特論	1前		1		○				1					
		分光統計解析学特論	1前		1		○				1					
		植物環境応答学特論	1後		1		○				1					
		応用植物生理学特論	1後		1		○				1					
		作物生産生理学特論	1前		1		○				1					
		資源植物利用学特論	1前		1		○				1					
		雑草生態学特論	1後		1		○						1			
		圃場管理学特論	1後		1		○						1			
		家畜行動学特論	1後		1		○			1						
		家畜管理学特論	1後		1		○			1						
		作物生態学特論	1後		1		○			1						
		生産情報処理学特論	1前		1		○				2					
		先端情報技術学特論	1前		1		○				2					
		発酵代謝学特論	1前		1		○				1					
		微生物ゲノム情報工学特論	1前		1		○				1					
		生産システム工学特論	1後		1		○				1					
		農用先端機械学特論	1後		1		○				1					
		生体情報科学特論	1前		1		○								兼1	
		生産エンジニアリング特論	1前		1		○								兼1	
		生体計測工学特論	1後		1		○								兼1	
		フードプロセス工学特論	1後		1		○								兼1	
		生産生態学特論	1後		1		○				1					
		循環型農業生産学特論	1後		1		○				1					
		土壌学特論	1前		1		○				1					
		最新土壌微生物学特論	1前		1		○				1					
		インターンシップ I	1前		1				○		1					集中
インターンシップ II	1前		2				○		1					集中		
資源循環生産学特別演習 I	1通	2					○		2	8		1				
資源循環生産学特別演習 II	2通	2					○		2	8		1				
小計（31科目）	—	4	30				—		2	8		1		兼4		
特別研究 （研究指導）	1～2通 1～2通	10 —					○		2	8		1				
小計（1科目）	—	10					—		2	8		1				
合計（32科目）	—	14	30				—		2	8		1		兼4		

		【生命機能科学コース】																
主 コ ー ス （ 生 命 機 能 科 学 コ ー ス）	専 門 科 目	先端分析科学特論Ⅰ	1前	2			○			2	4		2				オムニバス	
		先端分析科学特論Ⅱ	1後	2			○			4	3	1					オムニバス	
		生化学特論	1前		1			○		1								
		タンパク質科学特論	1前		1			○		1								
		機能プロテオミクス特論	1前		1			○			1							
		ケミカルバイオロジー特論	1前		1			○			1							
		構造生物学特論	1後		1			○						1				
		タンパク質工学特論	1後		1			○						1				
		微生物遺伝学特論	1前		1			○		1								
		ウイルス学特論	1前		1			○		1								
		応用微生物学特論	1前		1			○			1							
		微生物学特論	1前		1			○			1							
		分子生物学特論	1前		1			○			1							
		生物有機化学特論	1前		1			○			1							
		分子細胞生物学特論	1後		1			○			1							
		細胞情報学特論	1後		1			○			1							
		微生物酵素学特論	1前		1			○						1				
		極限環境微生物学特論	1前		1			○						1				
		食品生化学特論	1後		1			○		1								
		食糧流通貯蔵学特論	1後		1			○		1								
		食品科学工学特論	1前		1			○		1								
		バイオマス利用特論	1前		1			○		1								
		食品化学特論	1後		1			○		1								
		糖鎖工学特論	1後		1			○		1								
		糖質機能科学特論	1後		1			○					1					
		生物資源化学特論	1後		1			○					1					
		食品機能学特論	1前		1			○		1								
		栄養化学特論	1前		1			○		1								
		分子栄養学特論	1後		1			○			1							
		脂質生化学特論	1後		1			○			1							
		海洋資源化学特論	1後		1			○			1							
		グリコバイオロジー特論	1後		1			○			1							
		海洋天然物化学特論	1後		1			○			1							
マリンバイオ特論	1後		1			○			1									
生物資源科学特別講義	1前		2			○		1								集中		
インターンシップ	1前		1				○	1								集中		
生命化学演習	1・2通		2				○	2	4			2						
食糧科学演習	1・2通		2				○	4	3	1								
小計（38科目）	—	4	39			—		6	7	1	2							
特別研究 （研究指導）	1～2通 1～2通	10 —				○		6	7	1	2							
小計（1科目）	—	10				—		6	7	1	2							
合計（39科目）	—	14	39			—												
		【地域社会開発学コース】																
主 コ ー ス （ 地 域 社 会 開 発 学 コ ー ス）	専 門 科 目	農産物市場流通特論	1後		1			○		1								
		農業政策学特論	1前		1			○		1								
		地域農業組織特論	1後		1			○		1								
		農業経営学特論	1後		1			○			1							
		アジア農村開発学特論	1後		1			○			1							
		人類生態学特論	1前		1			○		1								
		国際環境保健学特論	1前		1			○		1								
		農村地理学特論	1前		1			○			1							
		農村景観保全学特論	1前		1			○			1							
		環境社会学特論	1後		1			○			1							
		農村社会学特論	1後		1			○			1							
		生態人類学特論	1前		1			○									兼1	
		地域資源開発学特論	1前		1			○								兼1		
		インターンシップ	1前		2				○	3	3							集中
地域社会開発学特別演習Ⅰ	1通		2				○	3	3									
地域社会開発学特別演習Ⅱ	2通		2				○	3	3									
小計（16科目）	—	4	15			—		3	3						兼2			
特別研究 （研究指導）	1～2通 1～2通	10 —				○		3	3									

共通	修士研究 (研究指導)	2通 2通	4		—	16	17		2		
	小計 (1科目)	—	4		—	16	17		2		
合計 (49科目)		—	4	48	—	16	17		2		兼7
合計 (202科目)		—	70	199	—	24	26	2	5		兼14

学位又は称号	修士 (農学)	学位又は学科の分野	農学関係
設置の趣旨・必要性			

I 設置の趣旨・必要性

現行の修士課程は、平成4年に設置されたもので、高度な専門職業人の養成を目的とする生物生産学専攻と、研究者の養成を目的とする応用生物科学専攻の2専攻からなる。農学部では、平成18年に生物生産学科と応用生物科学科の2学科を、応用生物科学科・生物環境科学科・生命機能科学科の3学科に改組し、農学の基礎力と学士力を養成する教育を行っている。農・食・資源・環境等をめぐる相互に関連する高度な専門職業人の要請が社会的責務となっている中、現行の2専攻制による教育課程では、これらの人材養成に対応した体系的教育が困難となっている。高い倫理性と応用力、国際的に活躍できる高度な専門職業人を養成するためには、学部教育を基盤にした1専攻5コースの教育課程に編成し、専攻共通科目・コース毎のクロス履修による専門横断的なコースワークを導入し、「新時代の大学院教育」に対応した大学院教育の実質化を目指す必要がある。特に、実践的農学分野において社会的ニーズの高い高度な専門職業人としての農業技術経営管理学 (農業版MOT) の副コースを設置し、主コースの教育課程と連動した実践教育を行う必要がある。

II 教育課程編成の考え方・特色

① 現行の2専攻を、高度な専門職業人の養成を目的とする生物資源科学専攻の1専攻とし、応用生物科学コース・生物環境保全学コース・資源循環生産学コース・生命機能科学コース・地域社会開発学コースの5コース制に編成する。

② 1) 応用生物科学コースは、生物資源の機能解析と保護・活用などの分野で活躍できる人材を養成するために、基礎教育科目として応用生物科学特論、また、生物資源の探索、生物機能や生態系の解析、バイオテクノロジーによる新素材の開発等に関する専門科目を開講する。2) 生物環境保全学コースは、地球全体から地域環境に至るまでの様々なスケールで生じている環境問題の解決に取り組む人材を養成するために、基礎教育科目として生物環境保全学特論、コース必修科目として生物環境保全学演習を、また、専門科目として環境負荷の少ない生物生産環境の創出・保全に関する科目を開講する。3) 資源循環生産学コースは、持続的な食料生産体系と高度な生産管理システムの構築に貢献できる人材を育成するため、基礎教育科目として作物生産学特論、コース必修科目として資源循環生産学特別演習、専門科目として生物生産科学と生産情報科学の理論と技術に関する科目を開講する。4) 生命機能科学コースでは、バイオマスの利用や機能性食品の開発など生命化学や食糧科学の分野で貢献できる人材を養成するために、基礎教育科目として生命機能科学特論、コース必修科目として先端分析化学特論、また、生命化学及び食糧科学に関する専門科目を開講する。5) 地域社会開発学コースは、地域資源の持続可能な開発と人間と環境との諸問題に取り組む人材を養成するために、基礎教育科目として農業経済学特論、コース必修科目として地域社会開発学特別演習、専門科目として諸民族・地域社会における人間と環境の諸関係、農林水産資源の循環的利用システムと農業関連ビジネスの開発に関する科目を開講する。

③ 農学総合講義を専攻共通科目 (必修) とし、先端農学の全体像を理解し、生命・環境・技術者倫理・情報リテラシー学習、プレゼンテーション能力等を向上させる。

④ 基礎教育科目、各選択科目をコース横断的に履修できるコース毎の標準履修モデルを編成し、講義科目・実験・演習科目を体系的に編成する。

⑤ 柔軟なクロス履修によるコースワークを充実させる1単位制講義科目を基本とするサブ・セメスター制度を導入する。

⑥ 主コースの学生に開かれた農業技術経営管理学の副コースを設置し、農業法人・集落営農等の担い手及び経営管理能力を有する技術者を養成する経営管理部門、経済学研究科の協力 (兼任教員) を得て、開講する。

⑦ 農業や食をめぐる近年の社会的ニーズに対応して、農業の担い手の育成や経営管理を行える農業技術経営管理者 (農業版MOT) を養成する中北部九州の拠点を目指す。

⑧ 特に環黄海・東南アジア諸国における農業と食を支える国際性豊かな農業技術経営管理者を養成する。

⑨ 長期インターンシップ・海外研修プログラム・デュアルディグリー等の導入による教育の実質化と国際化に積極的に対応する。

*副コースの授業科目の名称の*は、主コース開設科目と連動して、他コース学生のクロス履修による副コースの学習効果を高めるために開設した科目である。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
(修了要件) 大学院に2年以上在籍し、上記の授業科目について30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。 (履修方法) 主コース：専攻共通科目2単位、基礎教育科目2単位、専門科目16単位、特別研究10単位の合計30単位以上を修得することとする。 副コース：選択必修科目11単位以上、修士研究4単位の計15単位以上を修得することとする。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

(農学研究科生物生産学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
コア科目	作物生態生理学特論	1後	2			○			1							兼13 オムニバス
	応用生物科学概論	1前	2			○										
	小計(2科目)	—	4					—	1	0	0	0	0	0	0	
基礎教育科目	農業経済政策特論	1後	2			○			1							
	小計(1科目)	—	2					—	1	0	0	0	0	0	0	—
専門教育科目	資源社会管理学講座															
	農村地理学特論	1前		2		○				1						兼1 集中
	地域資源学特論	1前		2		○										
	環境社会学特論	1前		2		○			1	1						
	海浜台地政策学特論	1前		2		○			1							
	資源社会管理学特別演習	1通		2			○		3	2						
	小計(5科目)	—		10				—	3	2	0	0	0	0	0	兼1
	生産生物学講座															
	応用植物生態学特論	1後		2		○				1						
	熱帯作物改良学特論	1後		2		○				1						
	熱帯農業資源学特論	1前		2		○			1							
	施設農業生産学特論	1前		2		○				1						
	動物繁殖生理学特論	1後		2		○				1						
	動物生産学特論	1後		2		○			1							
	生産生態学特論	1後		2		○				1						
家畜飼養管理学特論	1後		2		○			1								
応用遺伝資源学特論	1後		2		○				1							
作物生産学特論	1前		2		○				1							
動物遺伝育種学特論	1前		2		○			1							メディア	
生産生物学特別演習	1通		2			○		4	7							
小計(12科目)	—		24					—	4	7	0	0	0	0	0	—
生産情報科学講座																
生産システム工学特論	1後		2		○				1							兼1
生体計測工学特論	1前		2		○											
生産情報処理学特論	1前		2		○											
生体情報科学特論	1後		2		○				1							
利水情報工学特論	1前		2		○				1							
水資源計画学特論	1後		2		○				1							
農地計画学特論	1後		2		○				1							
農地工学特論	1前		2		○				1							
リモートセンシング工学特論	1前		2		○			1								
生産システム情報学特別演習	2通		2			○			2							
生産情報工学特別演習	2通		2			○			2							
小計(11科目)	—		22					—	1	4	0	0	0	0	0	兼1
生産環境工学講座																
土壌物理学特論	1前		2		○					1						
地水学特論	1前		2		○					1						
浅海環境工学特論	1後		2		○			1								
環境資源学特論	1後		2		○			1								
物理探査学特論	1前		2		○			1								
土地生産機能学特論	1後		2		○			1								
生産環境工学特別演習	2通		2			○		3	1							
小計(7科目)	—		14					—	3	1	0	0	0	0	0	—

	共通科目																
	特別研究 (研究指導)	1~2通 1~2通	8 —				○			10	3						
	小計 (1科目)	—	8				—			10	3	0	0	0	0	—	
学外 科目 留	アグロサイエンス特論	1前		2			○									兼1	
	アグロサイエンス特別演習	1通		2			○									兼1	
	小計 (2科目)	—		4			—		0	0	0	0	0	0	0	兼1	
合計 (41科目)		—	14	74			—		10	14	0	0	0	0	0	兼16	—
学位又は称号		修士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係									

教育課程等の概要(事前伺い)

(農学研究科応用生物科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
コア科目	応用生物科学概論	1前	2			○			6	6	1				兼1	オムニバス	
	作物生態生理学特論	1後	2			○											
	小計(2科目)	—	4				—		6	6	1	0	0	兼1	—		
基礎教育科目	応用生物科学総合講義	1後	2			○			8	4		1				オムニバス	
	小計(1科目)	—	2				—		8	4	0	1	0	0	—		
	生物工学講座																
専門教育科目	植物遺伝子工学特論	1前		2		○			1								
	植物化学特論	1後		2		○			1								
	種苗生産学特論	1後		2		○				1							
	遺伝資源学特論	1前		2		○			1								
	植物育種学特論 II	1前		2		○				1							
	生物工学演習 I	1通		2				○	3	2							
	生物工学演習 II	2通		2				○	3	2							
	小計(7科目)	—		14			—		3	2	0	0	0	0	0	—	
	生物調節学講座																
	土壌学特論	1前		2		○				1							
	植物栄養調節学特論	1前		2		○			1								
	植物感染病学特論	1前		2		○				1							
	植物病学特論	1後		2		○			1								
	生物調節学演習	1通		2				○	2	2	1						
	小計(5科目)	—		10			—		2	2	1	0	0	0	0	—	
	動物資源学講座																
	線虫学特論	1前		2		○						1					
	害虫制御学特論	1後		2		○			1								
	システム生態学特論	1後		2		○			1								
	動物行動生態学特論	1後		2		○			1								
動物資源学演習	1通		2				○	3			1						
小計(5科目)	—		10			—		3	0	0	1	0	0	0	—		
生物機能化学講座																	
生化学特論	1前		2		○			1									
分子細胞生物学特論	1後		2		○				1								
分子生物学特論	1前		2		○				1								
応用微生物学特論	1前		2		○				1								
微生物遺伝学特論	1前		2		○			1									
生物物理化学特論	1前		2		○				1								
生物機能化学演習	1通		2				○	2	4								
小計(7科目)	—		14			—		2	4	0	0	0	0	0	—		
生物資源利用化学講座																	
食品生化学特論	1前		2		○			1									
食糧化学工学特論	1前		2		○			1									
食糧化学特論	1後		2		○			1									
食糧安全学特論	1後		2		○				1								
栄養化学特論	1前		2		○			1									
海洋生物資源化学特論	1後		2		○				1								
食糧流通貯蔵学特論	1後		2		○			1									
栄養生理学特論	1後		2		○				1								
生物資源利用化学演習	1通		2				○	4	3								
小計(9科目)	—		18			—		4	3	0	0	0	0	0	—		

	共通科目																
	特別研究 (研究指導)	1~2通 1~2通	8 —				○			14	3	1	1				
	小計 (1科目)	—	8				—			14	3	1	1	0	0		—
学外 科目 留	アグロサイエンス特論	1前		2			○					1					
	アグロサイエンス特別演習	1通		2			○					1					
	小計 (2科目)	—		4			—			0	0	1	0	0	0		—
合計 (39科目)		—	14	70			—			14	11	1	1	0	兼1		—
学位又は称号		修士 (農学)		学位又は学科の分野				農学関係									

佐賀大学大学院農学研究科改組に係る事前伺いの要望意見についての対応

【要望意見】

必修科目が非常に少なく、科目の大半が選択科目である。こうしたカリキュラム構成により「養成する人材像」にかかげる人材像に従った教育を施すことができるのか疑問である。

【意見に対する対応】

必修科目においては、専攻を通じた必修科目として農学総合講義を開講し、全ての専攻生に農学研究における国際性・先端技術、高度な専門職業人としての倫理観、情報リテラシー及びプレゼンテーション技術等を修得させる。また、各コースの基礎となる科目を選択必修科目として開講するとともに、各コースの教育目標に沿った人材を養成するために、先端分析化学特論、「演習科目」及び特別研究をコース必修科目として開講し、これらの科目を通して情報収集能力、分析能力、コミュニケーション能力、知識及び技術を実践的に活用できる能力などを修得させることとしている。

また、サブ・セメスター制を採用することによって、専門横断的な履修も可能となっており、必修科目、選択科目を通して基礎的科目と応用的科目の組み合わせによる「養成する人材像」にかかげる人材像の育成に沿った標準履修モデルを作成し、適宜、履修指導を行う。

今後、「養成する人材像」にかかげる人材像に従った教育や教育の質の充実をはかるために、設置後の自己点検評価・外部評価・学生による授業評価等によるカリキュラム分析を行い、必修科目数を含めカリキュラムの改善を行っていく。

【要望意見】

とくに、目標にかかげる「環境保全」「持続性」「倫理意識」「国際性」といったキーワードが、具体的にどのような科目や履修モデルによって教育されるのかが不明である。

【意見に対する対応】

教育課程等の概要（事前伺い）（農学研究科生物資源科学専攻）のⅡ教育課程編成の考え方・特色を以下のように修正した。（佐賀大学－7）

- ②1) 応用生物科学コースは、生物資源の機能解析と保護・活用などの分野で活躍できる人材を養成するために、基礎教育科目として応用生物科学特論、また、生物資源の探索、生物機能や生態系の解析、バイオテクノロジーによ

る新素材の開発等に関する専門科目を開講する。2) 生物環境保全学コースは、地球全体から地域環境に至るまでの様々なスケールで生じている環境問題の解決に取り組む人材を養成するために、基礎教育科目として生物環境保全学特論、コース必修科目として生物環境保全学演習を、また、専門科目として環境負荷の少ない生物生産環境の創出・保全に関する科目を開講する。3) 資源循環生産学コースは、持続的な食料生産体系と高度な生産管理システムの構築に貢献できる人材を育成するため、基礎教育科目として作物生産学特論、コース必修科目として資源循環生産学特別演習、専門科目として生物生産科学と生産情報科学の理論と技術に関する科目を開講する。4) 生命機能科学コースでは、バイオマスの利用や機能性食品の開発など生命化学や食糧科学の分野で貢献できる人材を養成するために、基礎教育科目として生命機能科学特論、コース必修科目として先端分析化学特論、また、生命化学及び食糧科学に関する専門科目を開講する。5) 地域社会開発学コースは、地域資源の持続可能な開発と人間と環境との諸問題に取り組む人材を養成するために、基礎教育科目として農業経済学特論、コース必修科目として地域社会開発学特別演習、専門科目として諸民族・地域社会における人間と環境の諸関係、農林水産資源の循環的利用システムと農業関連ビジネスの開発に関する科目を開講する。

- ③農学総合講義を専攻共通科目（必修）とし、先端農学の全体像を理解し、生命・環境・技術者倫理・情報リテラシー学習、プレゼンテーション能力等を向上させる。
- ④基礎教育科目、各選択科目をコース横断的に履修できるコース毎の標準履修モデルを編成し、講義科目・実験・演習科目を体系的に編成する。
- ⑤柔軟なクロス履修によるコースワークを充実させる1単位制講義科目を基本とするサブ・セメスター制度を導入する。
- ⑥主コースの学生に開かれた農業技術経営管理学の副コースを設置し、農業法人・集落営農等の担い手及び経営管理能力を有する技術者を養成する経営管理部門、経済学研究科の協力（兼担教員）を得て、開講する。
- ⑦農業や食をめぐる近年の社会的ニーズに対応して、農業の担い手の育成や経営管理を行える農業技術経営管理者（農業版 MOT）を養成する中北部九州の拠点を目指す。
- ⑧特に環黄海・東南アジア諸国における農業と食を支える国際性豊かな農業技術経営管理者を養成する。
- ⑨長期インターンシップ・海外研修プログラム・デュアルディグリー等の導入による教育の実質化と国際化に積極的に対応する。